

三
次

巻頭言《秋葉所長》.....	1	初任者紹介.....	5～7	編集後記.....	8
令和2年度運営計画.....	2～3	表紙写真解説(東光小学校).....	8		
運営組織・所員紹介.....	4	所員退任挨拶.....	8		

卷頭言



我以外皆我師

留萌管内教育研究所

所長 秋葉 良之

昨年度末から続く新型コロナウイルスの感染拡大防止に向けた対応は長期戦の様相を呈してきました。今年度の研究所の業務計画も変更を余儀なくされています。これまで当たり前であったことがそうではなくなり、不自由さや大変な苦労を伴っている状況がありますが、今こそ私たち一人一人の力を結集してこの難局を乗り切るとともに、一日も早く、子どもたちが安心して学ぶことのできる環境が整うことを願うばかりです。

さて、平成29年に告示された新学習指導要領が小学校では今年度から、中学校でも来年度から全面実施されます。図らずもこうした事態に直面している最中ですが、それでも私たちは目の前の子どもたちに、自分自身で明るい未来を切り拓いていくための確かな力を付けていかなければなりません。そのためには「主体的・対話的で深い学び」を視点とする授業改善の“日常化”が不可欠です。いくら学習指導要領が変わっても、教室の中にその風が届かなければ何も変わりません。大切なのは少しでも明日の

授業が改善していくことなのです。

そこで私たちが心しておくべきは、新しい教科書のこれまでとの内容の違いばかりに目を奪われないこと、そして、今改訂で示された資質・能力のとらえ方やその育成を図るために指導方法を身に付けることの重要性を認識することだと思います。折しも、今年度管内には30人もの初任者が配置され、若手教員が多くなりました。各校ではこれまで以上に研修活動が重視されることになりそうです。

我以外皆我師～自分以外の人や物など、全てが自分に対して何かを教えてくれる先生である～これは小説『宮本武蔵』の作者である吉川英治氏の言葉です。確かに心がけ次第で自分以外の人たち全てから学べると、私自身最近になって感じることがたくさんあります。教育新時代を迎える教師に必要な指導力が多岐に渡る中、私たち教師は改めて学ぶ姿勢を大切にしていかなければなりません。

私ども留萌管内教育研究所も、管内全域を網羅する唯一の公的な教育機関としての役割を今一度自覚し、常に学び続ける集団でありたいと思います。そして、業務の三本柱である研究・研修・広報の更なる充実を目指し、所員10名が一丸となって、教育の最前線で日々奮闘する先生方の「学び」を全力で支援していきたいと考えておりますので、今年度も当研究所を大いにご活用ください。どうぞよろしくお願ひいたします。

留萌管内教育研究所

令和2年度 運営計画

運営の指標

『共に歩み、共に育つ研究所』

学校の最も近くに位置する研究所であることの自覚に立ち、現場と遊離せず、現場に学びつつ、現場の期待に応えていく研究所でありたいという願いが込められている。

運営の重点

留萌管内教育研究所と管内の小中学校を中心とした学校との連携を深める中で、所内体制の整備・確立を図るとともに、研究活動の改善・充実、実践に生きる情報の収集と提供、教師の力量形成の場の創出などの観点から事業を焦点化して推進し、学校及び関係機関の期待に応えるよう努める。

- ① 分業と協業の特性を生かして分掌事務を推進し、効率的な運営に努める。
- ② 教育現場との共同研究を組織化し、授業研究を通して授業改善の方策を追究し、現場において活用できる研究活動を推進する。
- ③ 全国教育研究所連盟課題研究、北海道教育研究所連盟との共同研究を継続して進め、広い視野から指導内容や指導方法の改善・開発に向けた実践的な研究を深める。
- ④ 管内の地理的条件や施設設備の現状を踏まえ、教職員の研修の在り方を検討して、各種研修講座を開設し、計画的に実施する。
- ⑤ 所報『留萌』の発行を中心に、教育現場との交流活動を積極的に進める。

各部業務計画

研究部

1 共同研究

(1)研究主題

- ・『主体的・対話的で深い学び』の実現に向けた実践的研究～思考ツールを活用した授業改善～

(2)研究内容

- ・視点1 自己の学習を見通し、振り返る主体的な学び
- ・視点2 思考を広げ、確かな学びに向かう対話的な学び

◇研究主題の設定理由

平成29年に告示された新学習指導要領、全国学力・学習状況調査の管内質問紙等の結果を踏まえ、管内教育の課題を解決する上で意義のあるテーマを設定すべく、考えを可視化・操作化できる思考ツールを活用した授業実践、思考力・判断力・表現力の育成が実現できるよう、研究を推進していくこととした。

(3)研究推進の方法

- ・3か年継続研究…(3年次)
- ・研究領域…特別活動を除く、全教科・領域

・研究方法

- ◇理論研究…文献や先行実践資料などの調査、所内の研究員会議や研究協力員との合同研究会議、道研連との共同研究
- ◇授業実践…研究協力員による検証授業
(検証授業の日程) 9月、11月

2 全教連・道研連とのつながり

- (1)北海道教育研究所連盟夏季所員研修会への参加
(7/31) ※web会議
- (2)第75回北海道教育研究所連盟研究発表大会
(上川大会)への参加 (8/28) ※web会議

3 研究相談・研究交流

- (1)研究相談
 - ・管内各学校の研究に対する支援を行う。
- (2)各研究団体との研究交流
 - ・各種研究会、研修会に参加し、情報を交換する。

※検証授業については、管内の小中学校の先生方に広く公開すべく、事前に各学校へ指導案をメールにて送付します。ぜひ、積極的にご参観くださいますよう、お願い申し上げます。

研修部

1 研修講座

(1)目的

- ・管内教職員に研修及び研究の機会を設け、教育技術等の講習や教育実践の交流を進めることにより、管内教職員の資質向上に寄与する。

(2)内容

- ・教職員個々の資質向上を目指した研修講座
- ・教育現場の抱える課題や教育の今日的な課題の解明を目指した研修講座

【研修講座のお知らせ】

<思考ツールを活用した授業づくり>

新潟大学教育学部附属新潟小学校より講師を招聘し、思考ツールを生かした授業公開と講演。

期日：9月8日(火)

会場：留萌市立緑丘小学校（予定）

<美術研修講座>

「水墨画の指導」

期日：10月20日(火)

会場：未定

※<ミニ道研Ⅰ・Ⅱ><音楽研修講座>は、新型コロナウイルス感染拡大防止のために中止。

※ミニ研修講座

「ウェブ会議システムZoomの利用体験」実施。
(6月23・25日)

「学習指導要領改訂を踏まえた学習評価」実施。
(6月30日)

2 所内ゼミナー

(1)目的

- ・教育の今日的な課題等について、所員が互いに研修し合い、教育活動等の資質向上に資する。

(2)内容

- ・教育の今日的な課題についてのセミナーを企画、運営し、所内で実践等を紹介する。

3 ホームページの更新

※これからのお問い合わせへの、たくさんの方のご参加をお待ちしています。

広報部

1 所報の発行

(1)目的

- ・研究所の業務内容や教育の今日的動向と課題、現場の優れた実践などを紹介する。

(2)編集内容

- ・年間4回発行（7月中旬・10月下旬・12月中旬・3月中旬発行）
- ・各号8ページ立てで、管内教育のニーズに応じたものを掲載する。

2 研究資料・教育図書の管理

(1)目的

- ・管内の各学校や教育関係機関及び全国・全道教育研究所連盟加盟機関より贈呈された研究資料及び教育図書を分類整備する。
- ・資料・図書の収集に努めるとともに、紹介や貸し出しを行い、実践の改善に向けた資料として役立ててもらう。

(2)分類・整理と紹介の方法

- ・「教育研究資料分類基準」によって分類・整理を行い、「目録」を作成し管内全学校に配付する。
- ・新規購入図書については、「所報」等を通じて隨時紹介しながら利用の促進を図る。

(3)閲覧・貸し出しの方法

- ・火～木 10時～15時50分

- ・金 10時～14時50分

【貸出期間 1か月】

- ・電話・FAX・メールによる申し込みも受け付け、郵送希望にも応じる。

※今年度も、全道・全国の学校・教育関係機関・団体等から寄贈された膨大な教育研究資料を整理し『教育研究資料目録Vol. 25』として8月に各学校に配付いたします。教育図書同様に皆様のご利用をお待ちしています。

今年度の研究所メンバーです よろしくお願ひいたします。



▶後列左から
渡辺研究部長 菊池研修部員 中村研究部員
佐藤主任研究員 按田事務員

▶前列左から
笠原広報部員 高橋研修部長 秋葉所長
中澤研究部員 荒木広報部長

運営組織



【管理委員会】

役職	氏名	所属教育委員会・職名
委員長	武田 浩一	留萌市教育委員会 教育長
副委員長	佐藤 敏治	増毛町教育委員会 教育長
監 査	佐藤 裕昭	遠別町教育委員会 教育長
	吉田 忠	天塩町教育委員会 教育長
委 員	宇野 要	初山別村教育委員会 教育長
	池田 文敏	苦前町教育委員会 教育長
	山口 芳徳	羽幌町教育委員会 教育長
	照井 廣章	小平町教育委員会 教育長

【運営委員会】

氏名	所属・職名	備考
藤田 智哉	増毛中学校 校長	管内小中学校長代表
西條 直志	増毛小学校 教頭	増毛町学校教育代表
木藤 健史	港南中学校 教頭	留萌市学校教育代表
小林 剛	小平中学校 教頭	小平町学校教育代表
金山 茂樹	苦前中学校 教頭	苦前町学校教育代表
田谷 典久	羽幌中学校 教頭	羽幌町学校教育代表
齋 康幸	初山別小学校 教頭	初山別村学校教育代表
豊崎 東洋	遠別小学校 教頭	遠別町学校教育代表
高木 昌行	天塩小学校 教頭	天塩町学校教育代表
嵯家 知広	留萌市教育委員会生涯学習課生涯学習係主任	管内社会教育主事会代表

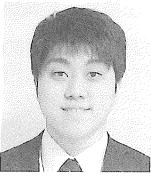
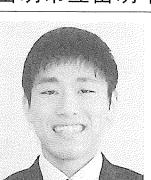
【研究所職員】

職名	氏名	所属	分掌
所長	秋葉 良之	港北小学校	統括
主任研究員	佐藤 隆司	港南中学校	総務
副主任研究員	渡辺 心	緑丘小学校	研究部長
	中澤 和彦	留萌中学校	研究部
	中村 泰広	潮静小学校	研究部
	高橋 基文	留萌小学校	研修部長
	菊池 真登	小平小学校	研修部
	荒木 隆典	増毛小学校	広報部長
	笹原 一希	東光小学校	広報部
事務員	按田 由香	専任	事務

【研究協力員】

氏名	所属・職名
佐治 麻里子	古丹別小学校 教諭
五十嵐 文人	留萌小学校 教諭
渡辺 大	増毛中学校 教諭
鴻上 優美	天塩中学校 教諭

今年度の初任者紹介

<p>増毛町立増毛小学校 教諭 岡 村 光 祐  出身地：鷺栖町</p> <p>今春、日本体育大学を卒業し、教諭として採用になりました。赴任した増毛小学校では、毎日子どもたちの発想の豊かさやまっすぐさに驚かされ、小学校に勤めることに楽しを感じることができます。幸いなことに、先生方から様々な面で指導していただきがあり、成長のチャンスをたくさんいただけています。このチャンスを生かし、一日でも早く一人前の教員になれるよう、たくさん見て、聞いて、考えて成長していきたいと思いますので、どうぞよろしくお願ひいたします。</p>	<p>増毛町立増毛小学校 事務職員 佐 藤 友 哉  出身地：旭川市</p> <p>今年度、増毛町立増毛小学校に初任者として赴任いたしました。赴任当初は、事務職員が自分一人だという環境に不安がありました。しかし、本校の先生方や前任の事務職員の方、さらに近隣の事務職員の方など、丁寧にご指導くださる皆様に助けていただきながら、充実した毎日を過ごしています。少しでも早く仕事に慣れ、学校や先生方、地域の役に立てるように努力していきます。よろしくお願ひいたします。</p>
<p>増毛町立増毛中学校 教諭 燕昇司 桃 子  出身地：留萌市</p> <p>今年の春に北海道教育大学札幌校を卒業し、増毛町立増毛中学校に赴任しました。私の人生において一番楽しかった、嬉しかった、悔しかった、苦しかった思い出は全て学校での出来事でした。</p> <p>また、このような大切な思い出の中には、必ずそばで見守ってくださった先生方がいました。私も、生徒たちが実り多い幸せな人生を歩めるよう、そばで見守り、導いてあげられる教師になれるよう全力で頑張ります。よろしくお願ひいたします。</p>	<p>留萌市立留萌小学校 教諭 佐 藤 綾 香  出身地：比布町</p> <p>留萌小学校に着任し、特別支援学級を担任しています。児童との接し方や仕事内容など戸惑うことばかりですが、先輩の先生方から教わりながら、児童が安心して学ぶことができるよう努力していきたいです。そして、児童が笑顔で学校生活を過ごし日々成長することを喜びとする教師になりたいと思います。そのため常に向上心をもって努力し、たくさんの事を経験して技術を磨いていきたいと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。</p>
<p>留萌市立留萌小学校 教諭 小 田 元 気  出身地：札幌市</p> <p>北海道教育大学釧路校を卒業し、留萌小学校に着任しました。初めての教員生活は分からぬことだらけで不安になることもあります。しかし、笑顔はじける子どもたちと丁寧にご指導くださる先生方に囲まれて充実した教員生活を送っています。子どもたち一人一人との関わりを大切にしながら、一人一人の成長に寄り添いサポートしていくように日々努力していきたいと思います。どうぞよろしくお願ひします。</p>	<p>留萌市立留萌小学校 事務職員 北 村 友之介  出身地：富良野市</p> <p>今年の春に北海道教育大学旭川校を卒業し、留萌市立留萌小学校に着任しました。留萌市のように海が見える街で暮らすのは初めてなので、家にいてカモメの声が聞こえてたり、海に沈む夕日がきれいに見えたりなど、驚くことがたくさんで毎日がとても新鮮です。</p> <p>仕事では、日々の業務を効率的に行ない、子どもたちが学びやすい環境を作っていくようになりたいです。早く仕事に慣れ、よりよい学校づくりに貢献できるよう頑張っていきます。どうぞよろしくお願ひいたします。</p>
<p>留萌市立東光小学校 教諭 原 瑞 希  出身地：札幌市</p> <p>教員として1年目の私は、今、小学校に入学したばかりの1年生のような真新しい気持ちでいます。分からぬことばかりではありますが、元気いっぱいの子どもたちや丁寧に指導してくださる先生方に助けられながら、楽しい教員生活を送っています。留萌という初めての地で不安や戸惑いはあります。子どもたちからたくさんエネルギーをもらい、そしてともに学んでいく姿勢を忘れずに、精一杯努力していきたいと思います。</p>	<p>留萌市立港北小学校 事務職員 川 守 卓  出身地：札幌市</p> <p>今年度、港北小学校に事務職員として赴任しました。大学は本州でしたが、道産子であるため、海のある留萌市で勤務できることを大変うれしく思います。まだまだ未熟者ですが、職場の先生方や事務職員の諸先輩に支えられ、とても充実した毎日を送っています。少しでも早く子どもたちや保護者の皆様、そして地域の皆様のために力を尽くせるよう精進してまいりたいと思います。どうぞよろしくお願ひします。</p>
<p>留萌市立緑丘小学校 教諭 岩 井 佳 宏  出身地：小樽市</p> <p>今年度、緑丘小学校に初任者として赴任しました。緑丘小学校では期限付を含めて3年目になります。明るく元気で素直な子どもたちに囲まれ、楽しく過ごしています。新型コロナの影響で子どもたちも大変な思いをしているので、少しでも何かの力になれたらと思います。小樽市や東京での経験を活かして、子どもたちとしっかり向き合って、子どもたちとともに自分自身も成長していくよう、頑張りたいと思います。よろしくお願ひいたします。</p>	<p>留萌市立留萌中学校 教諭 秋 山 康 平  出身地：北見市</p> <p>今年の春に北海道教育大学旭川校を卒業し、留萌市立留萌中学校に赴任いたしました。至らぬ点も多くありますが、少しでも教師として成長できるよう、先輩の先生方からのご指導や生徒たちとの関わりを通して、たくさんのことを学んでいます。生徒の「学びたい」という意欲を引き出し、教室全体で生徒の思いや考えを交流させることで、深い学びを実現していくような授業づくりに努めてまいります。よろしくお願ひいたします。</p>

今年度の初任者紹介

<p>留萌市立留萌中学校</p> <p>教諭 鶩見空我</p> <p>出身地：士別市</p>  <p>今年度、留萌市立留萌中学校に赴任いたしました。分からぬことばかりですが、元気で明るい子どもたちと、丁寧に指導をしてくださる先生方に助けられながら、教員としての生活を楽しく過ごしています。未熟ではありますが、日々の授業づくりや子どもたちとのふれあい、分掌業務も大切にしていきます。そして、子どもたちの成長につながるように教員として学び続ける姿勢を忘れず、頑張っていきます。よろしくお願ひいたします。</p>	<p>留萌市立留萌中学校</p> <p>養護教諭 松本京美</p> <p>出身地：岐阜県</p>  <p>今年の3月に東海学園大学を卒業しまして、留萌市立留萌中学校に赴任しました。毎日が新しいことばかりでとても新鮮で楽しいです。先輩の先生方から多くのことを学んで、早く仕事に慣れるように頑張ります。養護教諭として、生徒の身体の健康を守つていけるように、心身の健康課題を早期発見し、早期対応に努めてまいります。また、生徒の10年先、20年先を見据えた健康新教育をしていきたいです。よろしくお願ひいたします。</p>
<p>留萌市立港南中学校</p> <p>教諭 加藤凌</p> <p>出身地：熊本県</p>  <p>今年度、留萌市立港南中学校に初任者として赴任しました。まだ分からぬことは多くあります、「常に学び続ける姿勢」をもち、日々たくさんのこと学んでいきたいと思います。また、数学が好きな生徒にも数学が苦手な生徒にも「数学の授業の時間が楽しい！」と思ってもらえるような授業を行っていきたいです。精一杯、生徒のことをサポートしていきたいと思いますので、よろしくお願ひします。</p>	<p>小平町立小平小学校</p> <p>教諭 吉田悠花</p> <p>出身地：青森県</p>  <p>今年の春に北海道教育大学函館校を卒業し、小平小学校に赴任しました。全てが初めてのことだらけで、不安と責任を感じますが、経験豊富な先生方と、学びと元気をくれる明るい子どもたちに囲まれ、充実した日々を送っています。子ども一人一人に寄り添い、授業はもちろん、日々の学校生活においても、子どもたちの学び、発見、楽しさを大切に、頑張っていきたいと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。</p>
<p>小平町立小平中学校</p> <p>教諭 櫻井佑介</p> <p>出身地：妹背牛町</p>  <p>今年度、小平町立小平中学校に初任者として赴任しました。明るく元気な生徒たちと、充実した日々を過ごしています。期限付教員として勤務させていただいた小平小学校では、子どもたち、先生方、地域の人々に助けられ、様々な経験を積むことができました。その経験を活かし、日々、教員として学び続けていきたいと思いますので、どうぞよろしくお願ひします。</p>	<p>苦前町立苦前小学校</p> <p>教諭 遠藤航</p> <p>出身地：茨城県</p>  <p>憧れの教職の道を歩み始めた4月。初めての街。初めての子ども。夢が叶った気持ちとは裏腹に、分からぬことはばかりで不安の毎日でしたが、明るく元気な子どもたちやとても頼れる先輩教員に助けられ、充実した日々を送っています。本校を目指す子どもの姿「わくわく・いきいき・自分大好き」を実現させるために、笑顔と活気が溢れ、自らの成長を感じられる子どもたちを育てていきたいと思います。未熟なところも多々ありますがどうぞよろしくお願ひします。</p>
<p>苦前町立苦前小学校</p> <p>養護教諭 中田望美</p> <p>出身地：三笠市</p>  <p>今年度、苦前町立苦前小学校に着任しました。本校の重点目標を達成するキーワード「心と体のプロジェクト」の実現に向けて、安心できる居場所づくりを心がけていきたいと思います。子どもたち一人一人とのふれあいを大切にしながら、子どもたちの心が休まる温かい保健室経営を進めていきます。未熟な私ですが、謙虚な姿勢を忘れずに、先生方から多くのことを学び、子どもたちと共に成長していきたいと思います。どうぞよろしくお願ひします。</p>	<p>苦前町立古丹別小学校</p> <p>教諭 宮木あかね</p> <p>出身地：三重県</p>  <p>今年の春に地元の大学を卒業し、苦前町立古丹別小学校に赴任しました。新しい環境に戸惑いながらも、元気いっぱいの子どもたちと、頼れる先輩先生方に助けられながら充実した教員生活を過ごしています。一日一日を大切にして、先生方からたくさん学び、子どもたちと共に成長していくよう取り組んでいきます。どうぞよろしくお願ひします。</p>
<p>苦前町立苦前中学校</p> <p>教諭 水野真紀</p> <p>出身地：八雲町</p>  <p>今年の春に札幌大谷大学を卒業し、音楽教諭として苦前中学校に赴任しました。分からぬことはばかりの毎日ですが、元気いっぱい優しい生徒たちと丁寧にご指導くださる先生方に助けられながら教員生活を送らせていただいています。生徒たちのこれから的人生が楽しく輝かしいものとなるように、音楽の授業を通じて様々なことを伝えていきたいと思ってあります。学び続ける姿勢を大切に、生徒に寄り添いながら頑張りたいと思いますのでよろしくお願ひいたします。</p>	<p>苦前町立古丹別中学校</p> <p>教諭 鈴木朝香</p> <p>出身地：北見市</p>  <p>今年度、苦前町立古丹別中学校に初任者として着任しました。着任早々、臨時休業が続くなど変則的な毎日でしたが、素直で穏やかな子どもたちや頼れる先生方に助けられながら毎日を過ごしています。このような状況だからこそ、今年度はより一層、臨機応変に、子どもの気持ちに寄り添った指導を心がけたいと思います。未熟ではありますが、生徒の成長に貢献できるよう、共に学び、尽力していきます。どうぞよろしくお願ひいたします。</p>

今年度の初任者紹介

羽幌町立羽幌小学校  教諭 栗 山 幸 世 出身地：横浜市	羽幌町立羽幌小学校  教諭 桜 井 沙 都 子 出身地：恵庭市
今年の春、羽幌町立羽幌小学校に着任しました。分からぬことや悩むことなどたくさんあり、慌ただしく毎日が過ぎていますが、明るい子どもたちや先輩の先生方の充実した指導をいただき、無事教員生活のスタートを切ることができました。教育という常に学び続けなければいけない現場において、今現在自身の勉強不足の面が多くあります。子どもたちや先輩の先生方に支えられながら、学び続けていきたいと思います。よろしくお願ひします。	何もかもが初めてのスタートになりました。分からぬことばかりで不安ですが、素直で元気いっぱいの子どもたちと、とても丁寧にご指導してくださる先生方のいる環境で、充実した教員生活を過ごさせてもらっています。子どもたちのつぶやきから、楽しく学習できる授業展開を目指して、日々努力を重ねていきたいと思います。常に学び続ける姿勢を保ち、子どもたちと共に成長していきます。よろしくお願ひします。
羽幌町立天売小学校  養護教諭 武 本 麻 里 奈 出身地：札幌市	羽幌町立羽幌中学校  教諭 中 川 道 隆 出身地：岩見沢市
今年の春に長野県の大学を卒業し、羽幌町立天売小中学校に赴任しました。離島の小中併置校であり、新型コロナウイルスの影響によって例年通りの活動が難しいなど不安も多々ありました。笑顔溢れる子どもたちや丁寧にご指導をくださる先生方、あたたかい島民の方々に囲まれて充実した毎日を送っています。日々学び続ける姿勢を忘れずに、子どもたちが元気いっぱいに学校生活を送れるよう努めています。どうぞよろしくお願ひいたします。	この度、念願叶い新採用として赴任しました。校長先生をはじめとした先生方、事務の方々に様々なことを教えていただきながら日々の業務を行っています。学級も授業も「さあ、これから！」という時に、再び臨時休業となり残念でなりませんが、こういう時だからこそできること、生徒たちに教えることができることがあると思い準備を進めています。学校・家庭・地域、それぞれ大変な時期ではありますが、成長のきっかけができるよう頑張っていきたいと思います。よろしくお願ひします。
初山別村立初山別小学校  教諭 川 元 青 空 出身地：深川市	遠別町立遠別小学校  教諭 森 田 敦 也 出身地：札幌市
今年の春に弘前大学を卒業し、初山別村立初山別小学校に赴任しました。初めてのことばかりで、あっという間に時間が過ぎていきますが、元気な子どもたちと過ごす毎日はとても楽しく、充実しています。今だからこそ、学校に来て、友達と共に学ぶ楽しさを感じることができる授業づくりを大切にしたいと思います。また、子どもたちが自分自身の成長を実感し、自信をもてるような取組をしていきたいです。どうぞよろしくお願ひします。	この度、遠別町立遠別小学校に初任者として赴任いたしました。3月までは千歳市で期限付教諭として勤務していました。まだまだ分からぬ部分も多く、毎日の授業準備や仕事が大変だと感じることもありますが、先輩の先生方に助けていただきながら、また、子どもたちと楽しく関わりながら充実した日々を送っています。未熟ではありますが、子どもたちにとって最善といえることは何かを常に考えながら、子どもの成長の為に自分も成長していきたいと思ってあります。よろしくお願ひいたします。
遠別町立遠別中学校  教諭 植 木 雪 音 出身地：斜里町	遠別町立遠別中学校  事務職員 中 山 玲 杏 出身地：札幌市
今年の春に、立命館大学大学院を修了し、遠別町立遠別中学校に着任しました。まだまだ分からぬことばかりで不安も多い毎日ですが、素直で明るい子どもたちと頼れる先生方に助けられながら楽しく過ごしています。特に今年は、世界的にも大変な状況ですが、何気ない日常を当たり前と思わず日々を大切にしながら、今自分のできることを精一杯全うしていきたいと思っています。どうぞよろしくお願ひいたします。	今年の春に北海道札幌東商業高等学校を卒業し、遠別中学校に事務職員として赴任しました。赴任当初は、不安と緊張で胸がいっぱいでしたが、丁寧にご指導をしてくださる先生方や近隣の事務職員の方々に囲まれて、とても充実した生活を送らせていただいている。今はまだ未熟者ではありますが、一日一日を大切にし、常に学び姿勢を忘れず日々精進していき、学校に少しでも貢献できるように頑張ります。よろしくお願ひいたします。
天塩町立天塩小学校  養護教諭 相 原 み の り 出身地：神奈川県	天塩町立天塩中学校  教諭 佐々木 来 望 出身地：札幌市
天塩小学校の明るく元気な子どもたちと、優しくユーモアに満ちた先生方から毎日パワーをもらっています。保健管理や指導について悩むこともありますが、何事も前向きに取り組む姿勢を忘れないようにしていきたいと思います。子どもたちの心とからだの健康を保健室から支えていくように、日々勉強や経験を積み重ねていきます。よろしくお願ひいたします。	教育に熱い先生方に支えていただきながらスタートした教員生活は、とても刺激的で、毎日が「学びの連続」です。また、夢だった教師として、留萌の教育に携われることに喜びを感じています。今後は、教育の本質を見据え、子どもたち一人一人のために「できること」の選択肢を増やしていきたいと考えています。理想の教師像を日々更新させ、教師としての自分を磨いていけるよう精進していきます。どうぞよろしくお願ひいたします。

表紙写真
解説

「コロナに負けずにがんばる体育～校内研修～」

留萌市立東光小学校

コロナウイルス感染拡大による長期の臨時休業と、それに関わる様々な活動の自粛、縮小は教育活動にも多くの影響を与えました。

しかし、東光小学校は、「できない」を「できる」に変えられるものは何かを考え、少しずつ前進できるよう、努力をしているところです。この写真は、5月に行なった体育の校内研修の様子です。「子どもたちが学校に来られるようになった時のために！」と体育エキスパート教員の深井幸恵教諭を講師に、「コロナに負けずにがんば

る体育！」と題して、限られたスペース・時間の中で、私たち教師ができる工夫は何かについて学びました。この研修を通して、「子どもの活動の時間の確保」「次の活動を見通した指示」など、コロナウイルスに関わらず教師のるべき姿について改めて考えを深める契機となりました。他にもNITSを活用したコーチングや特別支援教育についてなど、様々な分野の研修を行っています。そうすることで、子どもたちの「できる」につなげていきたいと思います。

●退任の挨拶●



留萌市立留萌小学校
山際信博

研究部長として1年間勤務させていただきました。短い期間ではありました、他校に所属する研究所員の皆様との指導法に関する熱い議論、研究協力員の皆様との検証授業指導案の練り合いなどを通じて、たくさんのこと学ばせていただきました。これも、快く送り出してくれた勤務校教職員の皆様や所長はじめ所員の皆様の支え、留萌管内教職員の皆様の協力のおかげと思っています。心より感謝申し上げ、退任の挨拶とさせていただきます。



留萌市立東光小学校
寺澤寛

2度目の研究所の勤務でした。今回は3年間、研修部長として勤務させていただきました。この間、所属校である留萌市立東光小学校の先生方のご理解とご協力をいただき、また所長をはじめ、所員の皆様のご指導、ご支援を得ながら、貴重な経験をさせていただいたことに、心より感謝申し上げます。3年間を振り返ると、自分の力不足を実感するばかりですが、様々な業務を通して多くのことを学ぶことができました。これから研究所で学ばせていただいたことを、現場に生かすことができるよう努めています。最後になりましたが、今後の研究所の更なる発展をお祈りし、退任の挨拶とさせていただきます。



増毛町立増毛中学校
四宮詠子

平成29年度より3年間勤務させていただきました。広報部員として所報の内容見直しを行ったこと、検証授業や研修講座への参加を通して自分の授業を振り返ることができたこと、思考ツールの研修を深めたこと。どれも貴重な経験でした。このような機会をいただき大変感謝しております。快く送り出していただいた増毛中の皆様、所長をはじめ所員の皆様に深く感謝申し上げ、退任の挨拶とさせていただきます。本当にありがとうございました。



北海道立教育研究所
三谷玖未

2年間、研究部として勤務させていただきました。留萌管内の先生方のご協力をいただきながら、今日的な教育課題と向き合い、思考ツールを軸とした授業改善について研究し、自己の研鑽を積むことができました。研究所への勤務を支えてくれた留萌中学校の皆様、所長をはじめとする研究員の皆様、研究協力員の皆様に深く感謝申し上げ、お礼と退任のご挨拶とさせていただきます。

5月末に、新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言が解除され、2か月ほどが経ちましたが、学校の様子、子どもたちの表情はいかがでしょうか。留萌市では、子どもたちの姿がいろいろな場所で見られ、少しづつではありますが、落ち着きを取り戻しているように感じます。

研究所は、新たな研究員4名を迎える、心新たに業務を進めているところであります。研修講座は、中止となつたものもありますが、「このような状況だからこそ」とZoomを活用した研修などをを行い、多くの方の参加をいただきました。ありがとうございました。

今号では、今年度採用になった30名の初任者のみなさんの挨拶を載せています。原稿を寄せいただき、ありがとうございました。留萌の子どもたちの健やかな成長のため、日々奮闘する先生方を研究所は応援します。何か、困っていることがありましたら、いつでもご連絡ください。

今年度も、所報を通して、管内の先生方に役立つ情報を提供していきたいと存じます。ご意見ご感想をお聞かせいただければ幸いです。

(広報部 荒木・笠原)